



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年10月30日

上場会社名 株式会社ファンケル 上場取引所 東
 コード番号 4921 URL <http://www.fancl.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長執行役員 (氏名)島田 和幸
 (役職名)取締役執行役員 (氏名)石神 幸宏
 問合せ先責任者 グループサポートセンター長 TEL 045-226-1200
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日
 配当支払開始予定日 平成29年12月 5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|-------|---|-------|---|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 30年3月期第2四半期 | 51,857 | 12.3 | 3,736 | — | 3,843 | — | 2,485 | △35.8 |
| 29年3月期第2四半期 | 46,164 | 6.9 | △601 | — | △541 | — | 3,873 | — |

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 2,468百万円(△33.7%) 29年3月期第2四半期 3,720百万円(—%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年3月期第2四半期 | 39.27 | 38.84 |
| 29年3月期第2四半期 | 61.77 | 61.01 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 30年3月期第2四半期 | 86,933 | 73,548 | 83.9 |
| 29年3月期 | 85,677 | 72,402 | 83.6 |

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 72,899百万円 29年3月期 71,630百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年3月期 | — | 29.00 | — | 29.00 | 58.00 |
| 30年3月期 | — | 29.00 | | | |
| 30年3月期(予想) | | | — | 29.00 | 58.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 平成29年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当 17円00銭 特別配当 12円00銭
 平成29年3月期期末配当金の内訳 普通配当 17円00銭 特別配当 12円00銭
 平成30年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当 17円00銭 特別配当 12円00銭
 平成30年3月期(予想)期末配当金の内訳 普通配当 17円00銭 特別配当 12円00銭

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|---------|-----|-------|-------|-------|-------|-----------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 105,000 | 9.0 | 6,000 | 167.3 | 6,100 | 155.7 | 4,000 | △22.3 | 63.50 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 2社(社名)株式会社ファンケル化粧品
株式会社ファンケルヘルスサイエンス

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|----------|-------------|----------|-------------|
| 30年3月期2Q | 65,176,600株 | 29年3月期 | 65,176,600株 |
| 30年3月期2Q | 1,712,451株 | 29年3月期 | 2,184,389株 |
| 30年3月期2Q | 63,289,011株 | 29年3月期2Q | 62,699,532株 |

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 4 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 5 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 6 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 6 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 8 |
| 四半期連結損益計算書 | 8 |
| 四半期連結包括利益計算書 | 9 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 10 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 12 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 12 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 12 |
| (当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) | 12 |
| (セグメント情報等) | 12 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の各種政策効果などによる企業収益や雇用情勢の改善により緩やかな回復基調となりました。先行きについては、地政学的リスクの高まりなど海外情勢に不透明感が台頭していることから、留意すべき状況となっています。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、主力の化粧品関連事業、栄養補助食品関連事業が増収となり、全体では51,857百万円(前年同期比12.3%増)となりました。営業利益は、増収効果による売上総利益の増加に加え、インターネットの活用などによりマーケティング費用の効率的な使用に努めた結果、3,736百万円(前年同期は601百万円の営業損失)となりました。経常利益は前年同期に比べて4,384百万円改善し、3,843百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期に比べて1,387百万円減少し、2,485百万円となりました。これは前年同期に投資有価証券売却益を特別利益に計上したことによるものです。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 化粧品関連事業

売上高

化粧品関連事業の売上高は31,424百万円(前年同期比15.8%増)となりました。

| | 平成29年3月期 前第2四半期連結累計期間 | | 平成30年3月期 当第2四半期連結累計期間 | | 伸び率 (%) |
|--------------|--------------------------|------------|--------------------------|------------|------------|
| | 金額 (百万円) | 構成比 (%) | 金額 (百万円) | 構成比 (%) | |
| ファンケル化粧品 | 21,538 | 79.4 | 24,142 | 76.8 | 12.1 |
| アテニア化粧品 | 4,167 | 15.4 | 5,290 | 16.8 | 27.0 |
| boscia(ボウシヤ) | 986 | 3.6 | 1,562 | 5.0 | 58.5 |
| その他 | 441 | 1.6 | 428 | 1.4 | △2.9 |
| 合計 | 27,132 | 100.0 | 31,424 | 100.0 | 15.8 |

| | 平成29年3月期 前第2四半期連結累計期間 | | 平成30年3月期 当第2四半期連結累計期間 | | 伸び率 (%) |
|------|--------------------------|------------|--------------------------|------------|------------|
| | 金額 (百万円) | 構成比 (%) | 金額 (百万円) | 構成比 (%) | |
| 通信販売 | 11,651 | 42.9 | 12,950 | 41.2 | 11.2 |
| 店舗販売 | 9,706 | 35.8 | 11,436 | 36.4 | 17.8 |
| 卸販売他 | 2,622 | 9.7 | 3,197 | 10.2 | 21.9 |
| 海外 | 3,151 | 11.6 | 3,839 | 12.2 | 21.8 |
| 合計 | 27,132 | 100.0 | 31,424 | 100.0 | 15.8 |

ファンケル化粧品は、「マイルドクレンジングオイル」のプロモーション効果や、マチュア世代向け化粧品「ビューティブーク」の寄与に加え、基礎スキンケア製品も好調で、24,142百万円(前年同期比12.1%増)となりました。

アテニア化粧品は、「アテニア ミッドナイトモイスチャライザー<春夏>」、「スキンレタッチャー」などの新製品効果に加え、ウェブを活用したコミュニケーション戦略によりお客様数が大幅に増加し、5,290百万円(前年同期比27.0%増)となりました。

boscia (ボウシヤ)は、主力の「ブラック シリーズ」が好調に推移したことなどにより、1,562百万円(前年同期比58.5%増)となりました。

販売チャネル別では、通信販売は12,950百万円(前年同期比11.2%増)、店舗販売は11,436百万円(前年同期比17.8%増)、卸販売他は3,197百万円(前年同期比21.9%増)、海外は3,839百万円(前年同期比21.8%増)となりました。

営業損益

損益面では、増収効果による売上総利益の増加に加え、インターネットの活用などによりマーケティング費用の効率的な使用に努めた結果、営業利益は4,341百万円(前年同期比164.3%増)となりました。

② 栄養補助食品関連事業

売上高

栄養補助食品関連事業の売上高は17,049百万円(前年同期比10.5%増)となりました。

| | 平成29年3月期 前第2四半期連結累計期間 | | 平成30年3月期 当第2四半期連結累計期間 | | 伸び率 (%) |
|------|--------------------------|------------|--------------------------|------------|------------|
| | 金額 (百万円) | 構成比 (%) | 金額 (百万円) | 構成比 (%) | |
| 通信販売 | 6,105 | 39.5 | 6,475 | 38.0 | 6.1 |
| 店舗販売 | 3,744 | 24.3 | 4,767 | 28.0 | 27.3 |
| 卸販売他 | 4,827 | 31.3 | 4,911 | 28.8 | 1.7 |
| 海外 | 754 | 4.9 | 894 | 5.2 | 18.7 |
| 合計 | 15,431 | 100.0 | 17,049 | 100.0 | 10.5 |

製品面では、機能性表示食品「カロリーミット」シリーズや「年代別サプリメント」が好調に推移したことなどにより、増収となりました。

販売チャネル別では、通信販売は6,475百万円(前年同期比6.1%増)、店舗販売は4,767百万円(前年同期比27.3%増)、卸販売他は4,911百万円(前年同期比1.7%増)、海外は894百万円(前年同期比18.7%増)となりました。

営業損益

損益面では、増収効果による売上総利益の増加に加え、マス広告の出稿量の効率化などによるマーケティング費用の減少などにより、営業利益は202百万円(前年同期は1,026百万円の営業損失)となり、4期振りに黒字転換しました。

③ その他関連事業

売上高

その他関連事業の売上高は3,383百万円(前年同期比6.0%減)となりました。

| | 平成29年3月期 前第2四半期連結累計期間 | 平成30年3月期 当第2四半期連結累計期間 | 伸び率 (%) |
|-----|--------------------------|--------------------------|------------|
| | 金額 (百万円) | 金額 (百万円) | |
| 発芽米 | 1,251 | 1,121 | △10.4 |
| 青汁 | 1,367 | 1,285 | △6.0 |
| その他 | 980 | 977 | △0.3 |
| 合計 | 3,600 | 3,383 | △6.0 |

営業損益

損益面では、減収となったものの、販売費及び一般管理費が減少したことなどにより、営業利益は58百万円(前年同期は392百万円の営業損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産は、前連結会計年度末に比べて1,255百万円増加し、86,933百万円となりました。この要因は、流動資産の増加2,466百万円および固定資産の減少1,211百万円であります。流動資産の増加の主な要因は、現金及び預金の増加1,328百万円および受取手形及び売掛金の増加1,424百万円であります。固定資産の減少の主な要因は、繰延税金資産の減少などによる投資その他の資産「その他」の減少1,058百万円であります。

負債は、前連結会計年度末に比べて108百万円増加し、13,384百万円となりました。この要因は、流動負債の増加834百万円および固定負債の減少725百万円であります。流動負債の増加の主な要因は、支払手形及び買掛金の増加343百万円および未払金の増加などによる流動負債「その他」の増加426百万円であります。固定負債の減少の主な要因は、退職給付に係る負債の減少763百万円であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて1,146百万円増加し、73,548百万円となりました。この主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益計上による利益剰余金の増加2,485百万円および新株予約権の行使に伴う自己株式の処分などによる自己株式の減少684百万円と、配当金の支払いによる利益剰余金の減少1,826百万円であります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末から0.3ポイント上昇し、83.9%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」といいます。)は32,938百万円となり、前連結会計年度末より1,328百万円増加いたしました。

当第2四半期連結累計期間の各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は3,783百万円(前年同期は159百万円の支出)となりました。この内訳の主なものは、税金等調整前四半期純利益3,762百万円および減価償却費1,368百万円などによる増加と、売上債権の増減額1,436百万円などによる減少であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1,087百万円(前年同期は7,845百万円の収入)となりました。この内訳の主なものは、有形固定資産の取得による支出755百万円および無形固定資産の取得による支出393百万円などによる減少であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1,359百万円(前年同期は736百万円の支出)となりました。この内訳の主なものは、自己株式の処分による収入509百万円による増加と、配当金の支払額1,823百万円などによる減少であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点における通期の業績予想につきましては、平成29年4月27日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成29年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日) |
|------------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 31,609 | 32,938 |
| 受取手形及び売掛金 | 11,101 | 12,525 |
| 商品及び製品 | 3,833 | 3,564 |
| 仕掛品 | 23 | 55 |
| 原材料及び貯蔵品 | 3,763 | 3,970 |
| その他 | 3,273 | 3,041 |
| 貸倒引当金 | △79 | △102 |
| 流動資産合計 | 53,526 | 55,992 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 27,156 | 27,302 |
| 減価償却累計額及び減損損失累計額 | △14,985 | △15,322 |
| 建物及び構築物（純額） | 12,170 | 11,980 |
| 機械装置及び運搬具 | 8,408 | 8,518 |
| 減価償却累計額及び減損損失累計額 | △6,534 | △6,773 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 1,874 | 1,744 |
| 工具、器具及び備品 | 8,025 | 8,251 |
| 減価償却累計額及び減損損失累計額 | △6,772 | △6,970 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 1,252 | 1,281 |
| 土地 | 11,607 | 11,607 |
| リース資産 | 268 | 308 |
| 減価償却累計額及び減損損失累計額 | △148 | △138 |
| リース資産（純額） | 119 | 169 |
| その他 | 25 | 53 |
| 有形固定資産合計 | 27,049 | 26,836 |
| 無形固定資産 | | |
| その他 | 2,045 | 2,107 |
| 無形固定資産合計 | 2,045 | 2,107 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 128 | 126 |
| その他 | 2,928 | 1,870 |
| 投資その他の資産合計 | 3,056 | 1,997 |
| 固定資産合計 | 32,151 | 30,940 |
| 資産合計 | 85,677 | 86,933 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成29年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 2,307 | 2,650 |
| 未払法人税等 | 1,088 | 889 |
| 賞与引当金 | 1,030 | 1,293 |
| ポイント引当金 | 1,617 | 1,620 |
| 資産除去債務 | 2 | - |
| その他 | 5,264 | 5,691 |
| 流動負債合計 | 11,310 | 12,145 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付に係る負債 | 1,303 | 539 |
| 資産除去債務 | 416 | 422 |
| その他 | 245 | 277 |
| 固定負債合計 | 1,965 | 1,239 |
| 負債合計 | 13,275 | 13,384 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 10,795 | 10,795 |
| 資本剰余金 | 11,706 | 11,706 |
| 利益剰余金 | 52,339 | 52,940 |
| 自己株式 | △3,170 | △2,486 |
| 株主資本合計 | 71,670 | 72,955 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| 為替換算調整勘定 | 119 | 78 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △159 | △134 |
| その他の包括利益累計額合計 | △39 | △56 |
| 新株予約権 | 771 | 649 |
| 純資産合計 | 72,402 | 73,548 |
| 負債純資産合計 | 85,677 | 86,933 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 46,164 | 51,857 |
| 売上原価 | 13,817 | 15,028 |
| 売上総利益 | 32,347 | 36,829 |
| 販売費及び一般管理費 | 32,948 | 33,092 |
| 営業利益又は営業損失(△) | △601 | 3,736 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 2 | 2 |
| 受取配当金 | 0 | 0 |
| 受取賃貸料 | 52 | 51 |
| 雑収入 | 87 | 84 |
| 営業外収益合計 | 142 | 138 |
| 営業外費用 | | |
| 固定資産賃貸費用 | 17 | 17 |
| 為替差損 | 46 | - |
| 貸倒引当金繰入額 | 0 | 1 |
| 雑損失 | 18 | 13 |
| 営業外費用合計 | 82 | 32 |
| 経常利益又は経常損失(△) | △541 | 3,843 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 0 | - |
| 新株予約権戻入益 | 34 | 2 |
| 投資有価証券売却益 | 4,440 | - |
| 退職給付制度移行益 | - | 5 |
| 特別利益合計 | 4,476 | 8 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 0 | - |
| 固定資産除却損 | 22 | 3 |
| 減損損失 | 59 | 0 |
| 店舗閉鎖損失 | 18 | 83 |
| その他 | 1 | 1 |
| 特別損失合計 | 102 | 89 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 3,832 | 3,762 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 594 | 698 |
| 法人税等調整額 | △634 | 578 |
| 法人税等合計 | △40 | 1,276 |
| 四半期純利益 | 3,873 | 2,485 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 3,873 | 2,485 |

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 3,873 | 2,485 |
| その他の包括利益 | | |
| 為替換算調整勘定 | △151 | △41 |
| 退職給付に係る調整額 | △0 | 24 |
| その他の包括利益合計 | △152 | △17 |
| 四半期包括利益 | 3,720 | 2,468 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 3,720 | 2,468 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | - | - |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日) |
|----------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 3,832 | 3,762 |
| 減価償却費 | 1,482 | 1,368 |
| 減損損失 | 59 | 0 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | 6 | 24 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | 41 | 263 |
| ポイント引当金の増減額 (△は減少) | 56 | 3 |
| 退職給付に係る負債の増減額 (△は減少) | △9 | △728 |
| 受取利息及び受取配当金 | △3 | △2 |
| 為替差損益 (△は益) | 92 | △7 |
| 投資有価証券売却損益 (△は益) | △4,440 | - |
| 固定資産売却損益 (△は益) | △0 | - |
| 固定資産除却損 | 22 | 3 |
| 店舗閉鎖損失 | 18 | 83 |
| 新株予約権戻入益 | △34 | △2 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 624 | △1,436 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | △36 | 11 |
| その他の流動資産の増減額 (△は増加) | 141 | △25 |
| その他の固定資産の増減額 (△は増加) | 5 | 4 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △281 | 347 |
| その他の流動負債の増減額 (△は減少) | △652 | 377 |
| その他の固定負債の増減額 (△は減少) | △11 | △2 |
| その他 | △39 | △105 |
| 小計 | 873 | 3,938 |
| 利息及び配当金の受取額 | 3 | 2 |
| 法人税等の支払額 | △1,233 | △840 |
| 法人税等の還付額 | 197 | 683 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △159 | 3,783 |

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日) |
|----------------------|---|---|
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △2,020 | △755 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 78 | 3 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △163 | △393 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 9,785 | - |
| 貸付けによる支出 | △5 | - |
| 子会社の清算による収入 | 183 | - |
| その他の支出 | △70 | △66 |
| その他の収入 | 58 | 124 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 7,845 | △1,087 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 自己株式の処分による収入 | 375 | 509 |
| 自己株式の取得による支出 | △0 | △1 |
| 配当金の支払額 | △1,062 | △1,823 |
| その他 | △47 | △44 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △736 | △1,359 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △121 | △7 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 6,828 | 1,328 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 26,040 | 31,609 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 32,869 | 32,938 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間より、当社の連結子会社かつ特定子会社でありました㈱ファンケル化粧品および㈱ファンケルヘルスサイエンスは、当社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|-----------------------|-------------|--------------------|----------------------|--------|--------------|--------------------------------|
| | 化粧品 関連事業 | 栄養 補助食品 関連事業 | その他 関連事業 (注) 1 | | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 27,132 | 15,431 | 3,600 | 46,164 | — | 46,164 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 27,132 | 15,431 | 3,600 | 46,164 | — | 46,164 |
| セグメント利益又は損失(△) | 1,642 | △1,026 | △392 | 223 | △825 | △601 |

(注) 1 「その他関連事業」は、雑貨、装身具類、肌着類、発芽米、青汁等で構成されております。

2 セグメント利益又は損失の調整額△825百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれており、その主なものは、報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務部門等に係る費用であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|-----------------------|-------------|--------------------|----------------------|--------|--------------|--------------------------------|
| | 化粧品 関連事業 | 栄養 補助食品 関連事業 | その他 関連事業 (注) 1 | | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 31,424 | 17,049 | 3,383 | 51,857 | — | 51,857 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 31,424 | 17,049 | 3,383 | 51,857 | — | 51,857 |
| セグメント利益又は損失(△) | 4,341 | 202 | 58 | 4,602 | △865 | 3,736 |

(注) 1 「その他関連事業」は、雑貨、装身具類、肌着類、発芽米、青汁等で構成されております。

2 セグメント利益又は損失の調整額△865百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれており、その主なものは、報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務部門等に係る費用であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。